

和泉市防災シンポジウム

2012.3.11

開催趣旨

昨年3月11日に、未曾有の大震災が東北を襲いました。多くの人命が奪われた津波被害に加え原発による被害もあり、復興の道のりは始まったばかりです。

和泉市においては、震災発生時から今日に至るまで、被災地への人的支援をはじめ、市民の皆様からお寄せいただいた、義援金及び支援物資を送り、復興のための支援活動を行っているところです。

今回、東日本大震災から1年を迎えるにあたり、被災地で支援活動を行った方々の活動報告を兼ねまして、和泉市における防災のあり方を考えたく、シンポジウムを開催するものです。

日時：平成24年3月11日(日) 午後4時15分～6時頃(入場は午後4時から)

場所：和泉市コミュニティセンター 3階多目的ホール

参加費：無料(直接会場にお越し下さい)

シンポジウム内容

パネルディスカッション

テーマ「被災地支援活動を活かすために」

パネリスト 中浴 康二 (和泉市消防本部職員)

福島 奈緒美 (和泉市生きがい健康部高齢介護室職員)

筒井 康訓 (和泉市社会福祉協議会事務局長)

コメンテーター 辻 宏康 (和泉市長)

コーディネーター 相川 康子 (特活NPO政策研究所 専務理事)

会場案内 駐車場は、市役所駐車場をご利用ください。

会場 和泉市コミュニティセンター 3階多目的ホール
和泉市府中町二丁目7番5号 TEL0725-43-0532

アクセス 電車：JR和泉府中駅 徒歩8分
バス：南海バス和泉市役所前 徒歩1分

協力機関 町会連合会、社会福祉協議会、老人クラブ連合会、障がい者団体連絡協議会、民生児童委員協議会、消防団、防災協会、女性消防クラブ連合会、自主防災会連合会、和泉警察署



問：和泉市役所危機管理担当 0725-99-8104 (直)

コーディネーター



相川 康子(あいかわ やすこ) 特活 NPO 政策研究所専務理事

1965 年生まれ。兵庫県の地方紙「神戸新聞社」に 20 年間勤務し、阪神・淡路大震災(1995)の災害報道や防災・復興関連の社説に関わった。3 年間の神戸大学教員を経て 2010 年秋より現職。兵庫や大阪の自治体で、行財政改革や条例・計画策定のアドバイザーを務める傍ら「男女共同参画と防災」について、全国で講演や研修を行っている。東日本大震災では、自治体学会の担当運営委員として、被災地への情報提供や提言の取りまとめを行った。

コメンテーター



辻 宏 康(つじ ひろみち) 和泉市長

市議会議員を 3 期勤め、2009 年に初当選を果たし現在 1 期目。東日本大震災の発生を受け、「災害に強いまちづくり」に向けて防災力の向上を図る。現在、避難所として指定している市内の全小・中学校に対して、新たに「防災備蓄倉庫」を設置し、備蓄拠点の充実を図っている。また、「防災ガイドマップ」を改訂し、4 月広報いずみと共に全戸配布する。7 月 22 日には、宮城県南三陸町に入り、社会福祉協議会のボランティア団と共に支援活動を実施。現地で見聞したことを基に、本市においてもさらなる防災の取り組みを推進する。

パネリスト



中浴 康二(なかさこ こうじ) 和泉市消防本部職員

1988 年 4 月に和泉市消防本部消防士を拝命し、2003 年大阪府立消防学校教師、2009 年和泉市役所危機管理室職員を経て、2011 年より現職。東日本大震災では、緊急消防援助隊大阪府隊として、3 月 13 日に岩手県大槌町に向け出発し、5 日間に渡り人命救助活動を実施。これまでの消防人生において様々な災害現場で活動した経験を基に、各種災害への備え等、防災・減災の大切さ、自助・共助の大切さを市民の方々へ伝えたい。



福島 奈緒美(ふくしま なおみ) 和泉市生きがい健康部高齢介護室職員

1999 年 4 月に和泉市に奉職。保健センター等勤務を経て、2006 年より現職。長寿社会のまちづくりに向け、市民の方々々と協働で取り組みを展開している。今回、震災 2 ヶ月後の 5 月中、関西広域連合の枠組みにより岩手県大槌町に約 1 ヶ月赴任した。町長をはじめ、職員の 4 分の 1 が犠牲になった大槌町役場保健福祉部門にて、現地の保健福祉業務のサポートにあたった。災害時における住民の健康問題及び被災行政の抱える課題について報告する。



筒井 康訓(つつい やすのり) 社会福祉法人和泉市社会福祉協議会事務局長

1962 年大阪府生まれ。1985 年 4 月に和泉市に奉職。税務、スポーツ、都市開発、交通、農政等を転任後、2011 年 4 月より現職。経済不況等による生活基盤や地域コミュニティの崩壊が著しい近年において、地域福祉の推進に尽力。新たなる社会全体のあり方を模索する。現職に就任後間もなく、宮城県南三陸町に向け、ボランティアを組織し支援活動を展開した。和泉市においても発生が予測される大規模災害に向け、出来る限りの準備を行いたい。